大学･高専機能強化支援事業（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和7年度	学校コード	F127310108232	設置等組織名	現代社会学部デジタル情報学科（仮称）
大学名	羽衣国際大学	設置区分	私立		
学校種	大学	都道府県	大阪	事業計画名	羽衣国際大学現代社会学部デジタル情報学科(仮称)設置計画

１.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応
令和7年度	1-① 令和7年4月 デジタル情報学科(仮称)開設のための人員配置 1-② 令和7年4月～令和8年3月 デジタル情報学科(仮称)開設のための設置認可申請書作成、文部科学省大学設置室への事務相談(設置認可申請書提出(令和8年3月)) 1-③ 令和7年4月～ デジタル情報学科(仮称)開設のための教員公募 1-④ 令和7年4月～ デジタル情報学科(仮称)開設のため、教育内容等について他大学等の視察 1-⑤ 令和7年8月 デジタル情報学科(仮称)開設のための委託契約(設置認可申請書作成に係る入学希望者等の調査、卒業生に対する求人希望等の調査その他アドバイスを含む。) 1-⑥ 令和7年8月～令和8年3月 デジタル情報学科(仮称)に関するパンフレット、広報物等作成 1-⑦ 令和7年10月 デジタル情報学科(仮称)開設のための教員採用内定(兼任・兼担教員を含む。) 2前-① 令和7年8月～令和8年3月 デジタル情報学科(仮称)開設のための新棟建設調査、設計、行政との調整等 2前-② 令和7年8月～令和8年3月 デジタル情報学科(仮称)開設のための機器備品調査・選定	1-① 令和7年4月 デジタル情報学科(仮称)開設のための人員配置 1-② 令和7年4月～令和8年3月 デジタル情報学科(仮称)開設のための設置認可申請書作成、文部科学省大学設置室への事務相談(設置認可申請書提出(令和8年3月)) 1-③ 令和7年8月～ デジタル情報学科(仮称)開設のための教員公募 1-④ 令和7年4月～ デジタル情報学科(仮称)開設のため、教育内容等について他大学等の視察 1-⑤ 令和7年8月 デジタル情報学科(仮称)開設のための委託契約(設置認可申請書作成に係る入学希望者等の調査、卒業生に対する求人希望等の調査その他アドバイスを含む。) 1-⑥ 令和7年8月～令和8年3月 デジタル情報学科(仮称)に関するパンフレット、広報物等作成 1-⑦ 令和8年2月 デジタル情報学科(仮称)開設のための教員採用内定(兼任・兼担教員を含む。) 2前-① 令和7年8月～令和8年3月 デジタル情報学科(仮称)開設のための新棟建設調査、設計、行政との調整等 2前-② 令和7年8月～令和8年3月 デジタル情報学科(仮称)開設のための機器備品調査・選定	令和7年度自己評価 【３】計画を十分に実施している。 教育内容の検討及び調査に時間を要し、教員公募に遅れが生じたが、それ以外は概ね計画どおり進めることができた。
令和8年度	1後-⑧ 令和8年4月～令和9年3月 デジタル情報学科(仮称)に関するパンフレット、広報物等作成 2-③ 令和8年4月～令和9年3月 デジタル情報学科(仮称)開設のための新棟建設 2-④ 令和8年4月～令和9年3月 デジタル情報学科(仮称)開設のための教育機器備品納入(新棟建設進捗に合わせて納入時期を決定)		令和8年度自己評価 リストから選択してください。
令和9年度	令和9年4月 デジタル情報学科(仮称)開設 2後-⑤ 令和9年4月～ デジタル情報学科(仮称)において、必要があれば機器備品を追加(設置計画履行状況等調査で報告する。) 3-① 令和9年4月～ 本件公募要領に記載のフォローアップ実施 3-② 機器備品保守 3-③ 令和9年4月～ 次年度以降の学生募集体制の構築		令和9年度自己評価 リストから選択してください。
令和10年度	3-④ 令和10年5月 設置計画履行状況等調査報告(最低4年間)(他大学の先進事例参考を含む。) 3-⑤ 令和10年10月～ デジタル情報学科(仮称)を基礎とする大学院修士課程設置に向けての検討、調査等		令和10年度自己評価 リストから選択してください。
令和11年度			令和11年度自己評価 リストから選択してください。
令和12年度			令和12年度自己評価 リストから選択してください。
令和13年度			令和13年度自己評価 リストから選択してください。
令和14年度			令和14年度自己評価 リストから選択してください。
令和15年度			令和15年度自己評価 リストから選択してください。
令和16年度			令和16年度自己評価 リストから選択してください。
認可申請 又は届出	令和8年3月 デジタル情報学科(仮称) 設置認可申請予定	令和8年3月 デジタル情報学科(仮称) 設置認可申請	
定員減又は 学部等の廃止	令和9年4月 現代社会学部現代社会学科3人減員予定(入学定員110人、編入学定員2人、社会学･社会福祉学関係) 令和9年4月 現代社会学部放送･メディア映像学科10人減員予定(入学定員55人、社会学･社会福祉学関係、工学関係)		

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	羽衣国際大学

２.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

３.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。

② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。

④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。

⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。

⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。

⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。

⑨ 事業計画の選定があった日から４年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）

⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。

⑪ フェーズ３の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去５年間の中央値３年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。

⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通した教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和５年４月13日文部科学大臣認可）六（２）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
すべての項目が要件を満たしている														

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑭について	現在の状況
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

４.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度　の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

■ チェック　a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
■ チェック　b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
■ チェック　c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
a.本学が会員となっている堺経営者協会及び関西産業活性化協議会(KIAC＝キアック)、地元の商工会議所である堺商工会議所、高石商工会議所に加盟している企業から技術者をゲストスピーカーとしてお招きし、先端の内容を講演いただく予定である。企業の技術者については当該企業と調整の上、基幹教員又は非常勤講師として採用する予定である。 b.本学が加盟する「大学コンソーシアム大阪」の加盟大学(42大学)と連携し、単位互換科目等のうち、学生が希望する授業科目の受講を支援する予定である。 c.本学は、10の国・地域にある22の大学・教育機関と交換留学やダブルディグリーに関する協定を締結している。本学は従来から、留学を支援しており、新設予定のデジタル情報学科(仮称)においてもそれを進める。「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ（第二次提言）」(令和5年4月27日、教育未来創造会議)に、日本人学生の海外派遣についての意義、海外派遣を通じて育成したい人材の姿が記されている(本文PDF11・12ページ)。本学では、これらを参考に、学生の海外留学を支援する。 (https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kyouikumirai/pdf/230427honbun.pdf)	a.地元経済団体とは地域懇談会を通じ、産業界が求める人材像の把握や共同研究に向けた体制整備を推進した。新学科の教育課程（カリキュラム）が完成したことを受け、今後は外部講師の招聘に向け、各団体や加盟企業との具体的な協議・調整に着手する予定である。 b.他大学の学生や講師と共同で地域課題に取り組む「大学間連携講座A」を教育課程（カリキュラム）に配置し、泉州・南大阪地域の活性化に向けた実践的なフィールドワークの実施体制を整えた。加えて、「大学コンソーシアム大阪」等の単位互換制度を運用し、学生の志向に応じた多様な科目の受講を支援する準備を推進している。 c.10の国・地域にある22の大学・教育委員会との協定に基づき、共通教育開発センターが全学的な留学支援を推進している。留学先での学修成果を60単位まで認定する制度を整備した。新学科では「海外研修論」や欧米、アジアへの短期・中長期派遣科目を教育課程（カリキュラム）に配置した。	

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

■ チェック　a.入学者選抜における科目の見直し
■ チェック　b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
■ チェック　c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
■ チェック　d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
■ チェック　e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
a.数学的素養又は論理的素養の確認のため、入試科目として、数学や情報、小論文の科目を実施するとともに、大学入学共通テストにおいても数学や情報を活用した入学者選抜を実施する予定である。従来、本学では数学で受験する者は少なかったが、今後は、多くの生徒を送っていただいている高等学校に対して、ていねいな説明を行い、該当する生徒をこれまで同様に本学への受験を勧めていただく。 b.入学定員70人(予定)のうち、3人程度を女子学生確保のための特別枠とする予定である。また、併設の羽衣学園中学校高等学校のみならず、模擬授業等で女子生徒に対し、理工系キャリアの見通しを含め学問分野を分かりやすく説明し、志願につなげる予定である。 c.地域の高校等から、出張授業の依頼があった場合、これまでもできる限り応じてきた。デジタル情報学科(仮称)の開設に当たっても、積極的に応じる。また、令和6年4月16日付け事務連絡「令和6年度高等学校DX加速化推進事業(DXハイスクール)の採択校と大学等との連携について」(初等中等教育局参事官(高等学校担当))付、初等中等教育局学校デジタル化プロジェクトチーム、高等教育局専門教育課)に基づき、近畿圏において同事業(DXハイスクール)に採択されている高等学校との連携を積極的に行う。 d.既存学部・学科においても「社会人入試」を実施しており、デジタル情報学科(仮称)においても同様とする。 e.「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ（第二次提言）」(令和5年4月27日、教育未来創造会議)に、外国人留学生の受入れに当たっての考え方、受入れを通じて育成したい外国人留学生の姿が記されている(本文PDF12・13ページ)。本学では、これらを参考に、主として国内の日本語学校や海外協定校等から留学生を受入れるとともに、国内外の日本語教育機関においてもデジタル情報学科(仮称)において養成する人材、そのために必要な資質をていねいに説明し、留学生を受入れる。 (https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kyouikumirai/pdf/230427honbun.pdf)	a.数学的・論理的素養を重視し、一般選抜において「数学一科目型」や「小論文型」を新たに導入したほか、大学入学共通テストでも「情報Ⅰ」と数学を活用する選抜型を新設した。広報面では、例年実施している高等学校教員対象説明会や個別訪問を通して、新学科の教育内容や独自の選抜制度、情報科教員免許の取得可能性等について丁寧な周知を徹底した。 b.女子学生の確保に向け、学校推薦型選抜（指定校以外）において「女子枠推薦型」を正式に新設した。この選抜では、理工系の素養を測るため数学一科目の試験を課す体制を整えている。広報面では、併設校を含む各高等学校での模擬授業や進学相談会を継続的に実施しており、デジタル技術が文理を問わず将来のキャリアに不可欠であることを分かりやすく提示することとしている。 c.これまで地域の高校等からの依頼に応じ、年間4～5件の模擬授業を実施した実績があり、新学科においても、国の「DXハイスクール」事業に基づき、近畿圏の採択校との連携を強化する。 d.新学科においても「社会人入試」を実施することとした。 e.学内に国際交流委員会を置き、私費外国人留学生入試枠や学費減免等の支援体制を確立している。新学科に向けた実績として、例年国内外の日本語学校教員を対象とした説明会を年2回開催しており、養成する人材像や求める資質を丁寧に周知・説明してきた。教育課程（カリキュラム）には日本語や日本事情科目を配置済みである。国の提言を参考に、手厚い学修・生活支援を通じて留学生を安定的に確保する準備を推進している。	

大学名	羽衣国際大学

本事業対象となる学部等の個数	1

１.本事業対象となる学部等の状況

<内訳>
(1)

改組内容	既存学部における学科の新設
学部学科名	現代社会学部デジタル情報学科（仮称）

大区分	小区分	項目	単位	R7年度 選定・認可	R8年度	R9年度 開設	R10年度	R11年度	R12年度 完成年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
	事業計画に定める定員	入学定員	人	-	-																	
		編入学定員	人	-	-																	
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-																	
		入学者数	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
	その他の学期	入学定員	人	-	-																	
		入学者数	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-																	
		入学者数(B)	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-																	
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-																	
		編入学定員	人	-	-																	
		在籍者数(D)	人	-	-																	
		編入学者数	人	-	-																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-																	
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-																	
		授業科目の単位数	単位	-	-																	

大学名	羽衣国際大学

２.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

年度				R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-																	
		入学者数	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
	その他の学期	入学定員	人	-	-																	
		入学者数	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-																	
		入学者数(B)	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-																	
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-																	
		編入学定員	人	-	-																	
		在籍者数(D)	人	-	-																	
		編入学者数	人	-	-																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-																	
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-																	
		授業科目の単位数	単位	-	-																	

大学名	羽衣国際大学

３.大学（学士課程）の状況

年度				R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	293	293																	
		入学者数	人	310	337																	
	その他の学期	入学定員	人	-	-																	
		入学者数	人	-	-																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	293	293																	
		入学者数(B)	人	310	337																	
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.06	1.15																	
	収容定員等	収容定員(C)	人	1,186	1,188																	
		編入学定員	人	9	9																	
		在籍者数(D)	人	1,173	1,215																	
		編入学者数	人	7	6																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.99	1.02																	

４.外部資金の状況（全学）

年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度
改組状況		申請-５年	申請-４年	申請-３年	申請-２年	申請-１年	申請	選定	開設											
項目	単位																			
外部資金獲得額	千円	0	0	0	2,730	6,114	8,579	17,344												

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 （過去5年間における各年度の外部資金獲得額のうち最大額及び最小額を除いた残り3年分の平均）(E)	千円	910
本事業による助成金の額(F)	千円	632,500
フェーズ３の助成期間終了時までに達成する額 (E+F×2.5%)	千円	16,723

特記事項